



校訓 「正直 勤勉 愛語 進取」

平成30年6月1日

笠野小学校だより 6月



魅力を奏でる学校づくり 第3号 校長 中谷 昭代

Tel 288-8651 Fax 288-8652 kasano-es@m2.spacelan.ne.jp



樺越し ひかりつづける 六月野 (大野 林火)

笠野小学校の高台から眺める林の間に広がる田園風景は、日々緑濃く、輝きを増しています。6月は水無月(水の月)。これから梅雨に入っていきますが、笠野の森が奏でる雨音を楽しみながら、元気に過ごしていきたいと思います。

6月は4年生が出演する津幡町の器械運動交歓会、3～6年生が出演する河北郡市音楽会と津幡町の音楽会、5、6年生の宿泊体験学習と1年～4年のバス遠足、全校で行うプール掃除やプール開きと、行事が目白押しです。各自がねらいをしっかりと意識し、自分の魅力を奏でる6月にしていきたいと思います。また、6月4日(月)は授業参観、試食会、救急救命講習会、6月10日(日)は町一斉の美化大作戦と学校の奉仕作業を予定しています。保護者や地域の皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校訓の「勤勉」と 二宮金治郎(尊徳)像

玄関にある二宮金治郎(尊徳)の像は、背中に薪を背負い、手には本を持っています。二宮金治郎とはどのような人だったのでしょうか。



尊徳座像(岡本秋暉作
報徳博物館蔵)

二宮金治郎は江戸時代後半の今の神奈川県(当時は相模国)に生まれ、自分の家だけではなく、家老の武士の家の財政再建にも成功しました。

金治郎は、山に薪を取りに行くために毎日3kmも歩き一生懸命仕事をする傍ら、少しの時間も惜しんで読書して、勉学を怠ることはありませんでした。

二宮金治郎は次のような名言を残しています。

◇「大は小を積んだもの。だから、小を積んで大を成すほかに方法はない。」

◇「朝夕に善を思っている、その善事を実行しなければ、善人とは言えない。小さいことでも善いことを行うのが尊い。

善心が起こったら、すぐ実行するがよい。」



笠野小の二宮尊徳像

校訓の「勤勉」とは、二宮金治郎の教えから考えますと、「大きな目標を成し遂げるためには、毎日の授業や家庭学習等、地道な勉強を積み重ねること」、「思っているだけでは始まらない、小さなことでも善いと思ったことはすぐに実行すること」、つまり、「勤勉」にはインプットとアウトプットの両面があるということなのです。

6月は1学期の折り返し地点です。梅雨に入りますが、「晴耕雨読」、読書で知識を蓄え考える力を養い、晴れ間には、外で元気に体を動かし体力を付ける、そして、善いことは進んで実行する「勤勉」を意識して生活してみませんか。

◇お知らせ 平成31年度使用教科書採択の調査研究に資するため、教科書展示会が開催されます。保護者や地域の皆様も閲覧できます。期間は6/15(金)～6/28(木)で、場所は津幡町立図書館です。

自転車安全教室 ヘルメット着用で「ぶたはしゃべる」

5月2日(水)、心配していたお天気は何とか持ちこたえ、運動場で自転車安全教室が実施できました。津幡警察署の坂口さんからは、防犯標語「いかのおすし」『(ついて)行かない、(車に)乗らない、大声でさけぶ、すぐにげる、知らせる』についての再確認をしていただきました。



交流経済課の中川さんからは、整備された自転車に乗るために、合い言葉の「ぶたはしゃべる」で、ブレーキ・タイヤ・反射材・サドル・ベルの点検について教えていただきました。その後、運動場に設置した横断歩道や信号機を利用して自転車走行訓練と歩行訓練に分れ、真剣に練習しました。

この地域は坂が多いのでスピードの出し過ぎに注意して交通ルールを守り、ヘルメット着用で命を守って下さい。お世話いただきました警察署や町役場の皆様ありがとうございました。

臯月(さつき) 笠野小田んぼ塾 ～田植え体験～

真っ青な空に白い飛行機雲、ゴールデンウィーク明けのさわやかな5月11日(金)、農事組合法人市谷の皆様(組合長の前田衛さんと前田義裕さん、市谷地区の民生児童委員でもある森屋信作さん)の全面的なご支援とJA石川かほく支部の皆様のおかげで、今年も田植え体験ができました。また、当日応援に来ていただいた地域の皆様、ありがとうございました。



子どもたちは、太陽の恵みで温められた土や水のぬくもりを感じながら、教えていただいたとおり、早苗を3本ずつ分けて手に取り、田んぼに植えていきました。初めて体験する3年生は、足がなかなか抜けず前進に苦労しながらも、5,6年生の様子をお手本にして徐々にコツをつかんだ様子でした。今後は水の管理や草取り、肥料やり等たくさんの農作業があるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。イネ生長を楽しみにして、時々観察に行きたいと思います。



ツバメ調査を実施 地域の環境調査

つばめ調査は石川県の小学生が協力して愛鳥週間に実施する調査で、昭和47年から継続して行われています。笠野小学校でも5月16日(水)にツバメ調査を実施し、各ご家庭を子どもたちが訪問させていただきました。調査へのご協力ありがとうございました。



ツバメは、自然の変化を敏感に反映する生き物とされ、石川県ではツバメのことを「自然の語り部」と名付けています。エサとなる虫が豊富で、巣材となる泥やワラがあり、人が住んでいることがツバメにとって重要だからです。ツバメは、人間はツバメの天敵である蛇や猫から守ってくれる味方であると信じているようです。



笠野小学校の子どもたちが調査した成鳥の数は、昭和47年は25羽、平成28年は32羽、平成29年は41羽でした。使用中の巣の数は、平成28年は28個、平成29年は37個でした。平成30年は、といいますと、見かけた成鳥は29羽、使用中の巣の数は38個でした。ツバメにとっても住みやすい環境は維持されているようです。

畑の先生、畝づくりと野菜苗の植え方のご指導、ありがとうございました

今年も畑の先生（福田さん、岩田さん、岩本さん、山本さん、松本さん、松崎さん）にご来校いただくことができました。

5月7日(月)には、畑を耕し畝づくりをしていただき、18日(金)にはマルチの張りや野菜の苗植えを教えてくださいました。マルチは、水分保持、保温、除草、水の跳ね返しによる病気防止に効果があるということです。枝豆、きゅうり、なす、サツマイモ、



ハーブの苗等をやさしく植え付けました。植え終わった後は、子供たちは水をやり、畑の先生はさらに、支柱を立て、きゅうりのつるが巻きやすいようにワラで「手」をして下さいました。おかげで立派な学校農園が出来上がりました。地域の先生とふれ合い、楽しく野菜を植えた体験は、子供たちの温かい思い出となり心の栄養となっていくことでしょう。蒸し暑い日でしたが本当にありがとうございました。今後の野菜の生育が楽しみです。収穫祭へのご来校もお待ちしています。

中庭の巣箱が新しくなりました



笠野小学校のシンボルとして毎日眺めていた中庭の巣箱が、老朽化し風が吹く度に巣箱の屋根が飛んでいく状態で、やむを得ず、4月にPTAのお力をお借りして撤去しました。しかし、この学校で学んだ子どもたちはこの巣箱に親しみを感じ、また、この巣箱を抛り所に自然を愛する心を育んできました。それ故、新たな巣箱を設置したいと地域の方に相談しましたところ、坂本章さんのご厚意で、巣箱を創って学校に寄贈して下さることになりました。坂本さんは、住む人の気持ち(鳥の気持ち)を考えて、できるだけ自然に近いものにしたいと、外壁には秋田杉の天然の皮を貼り、内側は頑丈にそして芸術的に天然木を組み込み、木の香り漂う素晴らしいものに仕上げてくださいました。本当にありがとうございました。日本野鳥の会の白川先生からは、みかんやりんご、穀物を置くと、餌の種類によって異なる鳥が食べに来てくれるでしょうと、教えてくださいました。

5月24日(木)は、探鳥会に先立ち、新しい巣箱のお披露目会を行いました。坂本章さんからは、この巣箱を自然を愛する心のシンボルとし、豊かな自然の中で学んでいることを誇りとし、一層勉強に励んでくださいというお言葉をいただきました。



新しい巣箱の設置に当たり、以前の巣箱について笠野公民館の宮森主事さんにお尋ねしたところ、笠野小学校10周年記念の一貫として、当時のPTAのお力で制作したものだと分かりました。平成4年のアルバムを捜したところ、ありました！当時の巣箱の写真が1枚、歴史を感じました。

探鳥会では、白川先生から笠野小学校前で、わずか10分ほどの間に、ホトトギス、セキレイ、ヒバリ等14種類の鳥のさえずりが聞こえたと教えてくださいいただき、ちょうど校舎のアンテナに留ったかわいらしいセグロセキレイを双眼鏡で観察することができました。車の騒音ではなく、美しいさえずりに囲まれている笠野小学校はなんてすてきな学校なのでしょう。日本野鳥の会の白川先生、石川獺友会の辻森さん、笹川さん、有意義な探鳥会を開催いただきありがとうございました。



平成4年のアルバムに載っていた巣箱↑



2校交流 複式学級研究授業 刈安小&笠野小

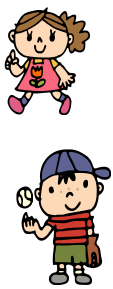
複式学級は16人まで(1年生を含む学年では8人まで)という学級編成の基準があり、笠野小学校は今年度は、3・4年生と5・6年生が複式学級となっています。複式学級では、一人の教師が一つの教室で同時に2学年分の異なる内容の授業を指導することになり、通常の指導以上に事前の準備と教材研究が必要となります。本校では長年、複式授業について研究を続けていますが、お隣の刈安小学校も同様の状況であり、年2回、合同研究会を行っています。5月15日(火)は今年度第1回目の研究会を本校で行いました。研究授業は5・6年算数で、5年生は容積の求め方、6年生は小数のかけ算の学習です。授業をリードする係の学習ガイドがいて、教師が直接指導できない場合は自分たちで授業を進められるようにしていかなければなりません。子供たちに「学び方」を身に付け、「授業としての深まり」も求めています。



授業後の整理会では、学びに向う態度がしっかりと育てられ、意見を聴き合って、自ら学び合うことができていた、実物があり容積を実感させる手立てや考えを深める手立てが十分になされ、教材研究がきめ細かになされていたと子供や授業者をたくさん褒めていただきました。今後も少人数のよさを生かした指導法をさらに研究し、複式学級ならではの自主性も育て、確実に力を付けていきたいと思えます。

「愛語」 やさしい言葉 を 実行していますか

5月は、全校集会でお話した愛語「やさしい言葉」を意識できたでしょうか。6年生は、いじめを絶対に許さないというメッセージを全校に向けて発信してくれました。いじめるつもりはだれもありませんが、知らないうちに仲間に入りづらくしていたり、悲しい思いをさせたりしていないか、十分気をつけて、だれにでもやさしく、だれとでも仲良くできる明るいい心で生活してほしいと願っています。



- ◇ いじめは、相手が傷つくことなので、絶対にやめましょう。優しい言葉、愛語」を使っていますみましょう。
- ◇ いじめは心を悲しませるのでやめましょう。
- ◇ いじめはいけません。相手が聞いて嫌な気持ちになる言葉遣いはいけません。優しい言葉「愛語」をたくさん使って、いじめのない優しい笠野小学校にしていきたいでしょう。
- ◇ いじめをしたら必ず天はつがくる。受けないように気をつけよう。
- ◇ いじめられていると思ったら、なんでもすぐに相談して下さい。必ず相談します。
- ◇ いじめはやられた人がいやな気持ちになるのでやめましょう。愛語」をたくさん使いましょう。
- ◇ 相手がいやと言っていないからといってからかってはダメ!心の中ではいやがっているかもしれない。

6月の生活目標は、友だちのよいところを見つけよう



6月は、なかよしグループで友だちのよいところを見つけ、メッセージを送り合う取組をします。私は、PCルームに入るとき、一番最後に入った児童が、こんなすてきなことをしている姿を見付けました。だれにも気づかれないことですが、さっと行動できたことがすてきです。



子供たちの「きらきら」輝く姿を学校中のみんなで見つけていきたいです。